

SilkPerformer® 2010 R2 リリースノート

Borland Software Corporation
4 Hutton Centre Dr., Suite 900
Santa Ana, CA 92707

Copyright 2009-2010 Micro Focus (IP) Limited. All Rights Reserved. SilkPerformer は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus (IP) Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

BORLAND, Borland ロゴ及び SilkPerformer は Borland Software Corporation またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

目次

SilkPerformer リリース ノート	4
SilkPerformer 2010 R2 の新機能	5
ブラウザ駆動型負荷テストの強化	5
大規模負荷テストのサポートの強化	6
BlazeDS サーバー アプリケーションのテストのサポート	7
ターミナル エミュレーションのカスタム画面サイズのサポート	7
Citrix セッションの正常な切断	8
一元管理データ ファイル	8
BDLT および Web 仮想ユーザーの Perfmon カウンタ	8
システム情報関数	8
ユーザビリティ機能の強化	8
使用技術の更新	9
テストされたソフトウェア	11
システム要件と事前要件	15
インストール手順	17
既知の問題	19
解決済みの問題	20

SilkPerformer リリース ノート

バージョン 2010 R2

2010 年 11 月 17 日

このファイルには、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。最後までお読みくださるようお願いいたします。

インストール、デプロイメント、ライセンス管理に関する情報については、『[SilkPerformer インストール ヘルプ](#)』を参照してください。

さらなる Customer Care による支援については、supportline.microfocus.com にアクセスしてください。

SilkPerformer 2010 R2 の新機能

SilkPerformer 2010 R2 では、大きな機能強化と変更が導入されました。

ブラウザ駆動型負荷テストの強化

ポップアップ ウィンドウのサポート

SilkPerformer のブラウザ駆動型テストで、認証ページなどのポップアップ ウィンドウを処理できるようになりました。


SilkPerformer のブラウザ駆動型テストでは、ポップアップ ウィンドウ (ログイン ダイアログ ボックスなど) を利用するサイトがサポートされています。ポップアップ ブラウザ ウィンドウには、メイン ページに戻される値をユーザーが入力する入力フィールドが含まれることがよくあります (ユーザー名やパスワード文字列など)。複数ブラウザ ウィンドウのサポートは、**Web ブラウザ駆動型 (AJAX)** タイプの SilkPerformer プロジェクトを作成するときにデフォルトで使用できます。

クライアント証明書のサポート

スクリプトの記録中にクライアント証明書を選択できます。クライアント証明書によって、特定の Web サイトに対する認証が容易になります。Microsoft の証明書ストアから入手した証明書をインポートしたり削除するための API が利用できるようになりました。この API は、Windows Internet Explorer および SilkPerformer のブラウザ駆動型負荷テスト機能で使用されます。

AJAX 同期オプションの強化

AJAX ベースの Web アプリケーションのテストが容易になるよう、特定の URL をブラウザの同期から除外できます。この価値を理解するには、クライアントからデータをポーリングすることでアプリケーションにサーバー時間を表示することを想像してみてください。このサービスを利用するには、サーバーへのトラフィックのストリームが一定である必要があります。アプリケーションがアイドル状態に全くなならないため、このサービスは AJAX 同期における課題でした。同期からこのサービスを除外することで、別のサービスを使用する他のアプリケーションの処理を正確にテストできるようになります。

 **注:** 単一のサービス内で複数の処理が実行されているために URL の除外が実行できない場合は、AJAX 同期を無効にし、HTML モードに切り替える必要があります。

Browser Application でのロケータの検証

Browser Application には、**再生** ウィンドウでのロケータ情報の分析と操作を簡単にするコマンドが用意されています。**再生** ウィンドウの任意の API 呼び出しを右クリックして、呼び出しのロケータ情報のコピー、**情報** 列のコンテンツのコピー、および **Locator Spy** DOM 階層ツリーの呼び出しのロケータの表示を行うための状況依存のコマンドにアクセスします。

このようなコマンドは、たとえばロケータの検証または API 呼び出しに失敗したときに使うと便利です。API 呼び出しのロケータを使用して、**Locator Spy** で呼び出しを探したり、問題をトラブルシューティングしたり、それに応じてスクリプトを編集できます。また、**コピー** コマンドを使用して、API の詳細をコピーして、電子メールや問題レポートに貼り付けることができます。

Browser Application での記録時のブラウザ サイズの定義

ブラウザ駆動型負荷テストで使用される Browser Application を使用して、記録時のブラウザ ウィンドウのサイズを指定できるようになりました。

記録時の特定のブラウザ ウィンドウのサイズを定義すると、TrueLog の分析時に再生スクリーンショットと並べて比較できるサイズでスクリーンショットを記録できるようになります。この機能は、TrueLog Explorer 内で TrueLog の分析時に異なるサイズの記録および再生スクリーンショットと比較しなければならなかった問題に対処したものです。以前は、このような構成は、BrowserStart API 呼び出しのパラメータを手動で編集することでのみ可能でした。

エラー処理の強化

ネットワークまたは Windows Internet Explorer エラーが発生するたびに、すべての API が停止し、エラーが記録されます。その後、特定のエラー メッセージ (HTTP エラーなど) が TrueLog に記録されます。



注: このことが、一部の互換性の問題を引き起こすことがあります。

大規模負荷テストのサポートの強化

SilkPerformer のクラウド機能は、大規模負荷テストの最も洗練されたアプローチを実現します。SilkPerformer を使用した大規模負荷テストがさらに改善されました。

処理能力計画ワークフローの強化

大規模負荷テストをサポートする SilkPerformer は、エージェントからワークロードへの割り当て機能すべてを 1 つのワークフロー ステップ内に統合し、**エージェントの割り当て** ワークフロー バー ボタンで使用できます。ここでは、負荷テスト環境で仮想ユーザーの分散を設定し、仮想ユーザーを特定のエージェント、エージェント クラスタ、またはクラウド エージェント割り当てることができます。ウィザードを使用して、特定のエージェントの推奨される値を計算できます。


エージェントの割り当て ワークフロー バー ボタンで、次の作業を開始できます。

- 個々のエージェントを設定し、エージェントをワークベンチ エージェント プールへ追加する。
- 個々のエージェントをプロジェクトに割り当てる。
- 定義済みの機能を備えたエージェントのクラスタをプロジェクトに割り当てる。
- クラウドで仮想マシンとして動作するエージェントを使用するようプロジェクトを設定する。

BDL スクリプトでチェックポイントを定義する

負荷テスト中に単一ユーザーの進捗状況と成否を、仮想ユーザーのすべての出力を表示する方法よりも正確な方法で監視できるようにするには、チェックポイントを使用して、ユーザーが定義したセクションにトランザクションを分類します。チェックポイントのメッセージは、Try Scripts の実行中および単一の仮想ユーザーの出力が有効な場合は負荷テスト中に出カウィンドウに表示されます。チェックポイントのメッセージの出力は、監視ツールバーの **チェックポイント** ボタンを使用して有効または無効にできます。

チェックポイントによって出力ウィンドウに表示されるメッセージを指定できます。また、チェックポイントのタイマを設定して、先行するチェックポイントからチェックポイント関数の呼び出しまでの時間を測定できます。トランザクションの最初のチェックポイントは、トランザクションの開始時間からチェックポイント関数の呼び出し時間までの時間を測定します。エラー、警告、または正常に実行されたことを伝えるメッセージが、先行するチェックポイントからチェックポイント関数の呼び出しまでの間に発生した場合、チェックポイント メッセージのアイコンで、この間隔に発生したすべてのメッセージの中で最も高い深刻度のもので強調表示されます (エラー > 警告 > 正常)。

 **重要:** チェックポイント名は、負荷テストの中で一意である必要があります。

エラー ペイン

SilkPerformer ワークベンチには、テスト中に発生したエラーを監視するのに役立つ **エラー** ペインがあります。エラーは、個別に表示されるのではなくタイプ別に統合されています。これは、テスト中に同じタイプのエラーが多数発生する場合に便利です。入力行はそれぞれエラー タイプを表し、頻度カウンタが含まれています。**エラー** ペインのエラー タイプ エントリをダブルクリックし、BDL スクリプトの対応する行にフォーカスします。

エラー ペインはコントローラから入力を受信するため、レポート設定が構成できます。たとえば、**全ユーザーの全エラーの表示** オプションを設定して、すべてのユーザーのエラーをすべて表示させることができます。

結果の解析性能の改善

大きな結果セットや複数の負荷テスト実行の結果セットを含む SilkPerformer プロジェクトを開くとき、数分かかることがあります。負荷テストの結果の解析方法が改善されたことで、このようなプロジェクトを開くときに、数秒しかかからなくなりました。

仮想ユーザー数と傾斜増加時間の指定

動的ワークロードの構成 ダイアログ ボックスが再設計され、仮想ユーザー数が制御しやすくなりました。各ユーザーグループの絶対仮想ユーザーの数を定義するオプションと、テスト全体にわたってアクティブな仮想ユーザーの全体の割合を調整するオプションの両方が利用できるようになりました。

新しい傾斜の増減機能では、ユーザーの数をスムーズに増減させることができます。

動的ワークロード負荷テストを開始すると、**動的ワークロードの構成** ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでは、各仮想ユーザー グループの合計数と、指定された仮想ユーザー数に達するまでユーザー グループの仮想ユーザーの数を増加またはゼロまで減少させる時間を指定して、ユーザー数を円滑に増減させることができます。個々のユーザー グループの動的仮想ユーザー数を調整するには、**ユーザー グループ** 列でユーザー グループを選択し、ダイアログ ボックス右側のスライダを目的の値になるまでスライドします。または、直接 **動的仮想ユーザー** 列をクリックし、キーボードを使用してユーザー数を編集できます。

BlazeDS サーバー アプリケーションのテストのサポート

BlazeDS アプリケーションの SilkPerformer の Flex/AMF メッセージ処理が改善され、BlazeDS アプリケーションの記録と再生がインストール後すぐに実行できるようになりました。

ターミナル エミュレーションのカスタム画面サイズのサポート

SilkPerformer では、ターミナル エミュレーション アプリケーションのテスト用に、カスタムの画面解像度がサポートされるようになりました。スクリプトの記録を開始する前に、Telnet プロファイル設定でアプリケーションの画面サイズを定義してください。

Citrix セッションの正常な切断

新しい SilkPerformer プロファイル設定 **セッションを正常に切断する** をオンにすると、Citrix セッションから接続解除するときに、各仮想ユーザーに対してログオフが実行されます。これにより、仮想ユーザーは最初のトランザクション後に、エラーを発生させることなく再接続できるようになります。 **セッションを正常に切断する** 設定は、デフォルトでオンになっています。

一元管理データ ファイル

データ ファイルに保存されている値を使用したワークロードのパラメータ化機能が拡張され、すべての仮想ユーザーが新しい BDL 関数 FileGetNextUniqueRow を使用して、一元管理されているデータ ファイル内のデータの行に順にアクセスできるようになりました。

ファイルが一般 (FileCSVLoad または FileFixedLoad) 関数とグローバル関数 (FileCSVLoadGlobal または FileFixedLoadGlobal) のどちらで開かれているかに関係なく、テスト全体で一意的な行ポインタは、すべてのエージェント上のすべての仮想ユーザーに対して維持されます。そのため、すべての仮想ユーザーは、基本的にテスト全体で同じデータ ファイルへのシーケンシャル アクセスを共有することになり、FileGetNextUniqueRow 関数が呼び出されるたびに、すべての仮想ユーザーが一意的なデータ行を取得できます。

BDLT および Web 仮想ユーザーの Perfmon カウンタ

Windows PerfMon インターフェイスを介して SilkPerformer 2010 R2 コントローラとエージェントで監視するときに、2つの新しいパフォーマンス カウンタが使用できるようになりました。2つのカウンタ **Summary:BDLT Active Users** と **Summary:Web ActiveUsers** は、コントローラとエージェントの両方で使用できます。これらのカウンタによって、アクティブな Web プロトコル ユーザーとアクティブなブラウザ駆動型テスト (BDLT プロトコル) ユーザーを区別することができます。

システム情報関数

SilkPerformer に、システム情報を取得するための3つの関数が追加されました。

- GetInternetExplorerInfo: インストールされている Windows Internet Explorer のメジャーバージョン、マイナーバージョン、およびビルド番号を返します。
- GetOperatingSystemDisplayString: オペレーティングシステムの長い名前を返します。
- GetOperatingSystemInfo: オペレーティングシステムのメジャーバージョン、マイナーバージョン、およびビルド番号を返します。

ユーザビリティ機能の強化

SilkPerformer 全体にわたって、以下のようにユーザビリティ機能が強化されています。

Java プロジェクトのクラスパス処理の強化

確認時に、JAR ファイルを SilkPerformer Java プロジェクトに追加すると、それらのファイルは自動的にクラスパスにも追加されます。SilkPerformer Java プロジェクトから JAR ファイルを削除すると、クラスパスからも JAR ファイルが削除されます。

結果ファイル サブディレクトリの新規作成 ダイアログ ボックスの表示の抑制

負荷テストを実行するたびに表示されていた **結果ファイル サブディレクトリの新規作成** ダイアログ ボックスが、**今後このダイアログを表示しない** チェック ボックスに追加されました。このチェック ボックスをオンにすることで、ダイアログ ボックスの表示が抑制されるようになります。

このダイアログ ボックスおよびその他の抑制済みダイアログ ボックスを、デフォルトのアクティブ状態にリセットするには、**システム設定 > ワークベンチ > ワークスペース** に移動し、**すべてのダイアログ ボックスを表示する** をクリックします。

監視 ページの関連列のカスタマイズ表示

監視 ページには、負荷テストの進行状況に関するリアルタイム情報が表示されます。表示される列は、プロジェクトのアプリケーションの種類に依存し、**監視** ページの **要約** または **ユーザー** リスト ボックスをクリックし、**列の選択** を選択します。選択された列は、プロジェクトごとに保存されます。

また、**監視列の選択** ダイアログ ボックスも拡張されており、すべての列を選択する **すべて** ボタン、すべての列の選択を解除する **なし** ボタン、プロジェクトのアプリケーションの種類のデフォルトの列を選択する **デフォルト** ボタンが追加されました。

スクリプト ファイル管理の簡略化

SilkPerformer メニュー ツリーの **スクリプト** ノードのコンテキスト メニューが、スクリプト ファイルを簡単に管理できるように編成され、強化されました。

- **既存のスクリプトの追加...** : 既存のスクリプトを現在のプロジェクトに追加するファイル ダイアログを開きます。
- **スクリプト名の変更** : 既存のスクリプト名を変更します。この機能は、キーボードのショートカット キー **F2** でトリガすることもできます。
- **スクリプトの新規作成** : 新しいスクリプトを作成し、それらを自動的に現在のプロジェクトに追加する、さまざまな種類のスクリプト テンプレートを提供するカスケードされたサブメニューを提供します。


使用技術の更新

SilkPerformer2010 R2 では、以下の最新技術およびアプリケーションのテストをサポートしています。

Microsoft Visual Studio 2010

SilkPerformer の .NET サポートに、Microsoft Visual Studio 2010 が含まれるようになりました。

ワークフロー - プロジェクトの概要設定 ダイアログ ボックスで新しいプロジェクトをセットアップする際に、対応するアプリケーションの種類を指定できます。**アプリケーションの種類** ツリー メニューから、**.NET > .NET Framework using Visual Studio .NET Add-On** を選択します。

 **注:** このアプリケーションの種類を使用するには、お使いのシステムに Microsoft Visual Studio 2010 をインストールする必要があります。

Citrix 12

SilkPerformer で、次に示す Citrix XenApp クライアント 12.0 および Citrix Web Interface 5.3 がサポートされるようになりました。Complete Citrix クライアントのサポートには、次のものが含まれます。

- Citrix Program Neighborhood バージョン 7.0、7.1、8.1、9.0、9.1、10、11
- Citrix XenApp クライアント 11、11.2、12.0
- Citrix Web Interface 5.3

Complete Citrix サーバーのサポートには、次のものが含まれます。

- Citrix MetaFrame XP バージョン 1.0
- Citrix Presentation Server 4.0
- Citrix XenServer 5.0

Flex 4

SilkPerformer では、Flex のバージョン 2、3、および 4 のサポートが提供されています。

認証を使用したプロキシ経由の接続のサポート

SilkPerformer は現在、基本認証、NTLM、または Kerberos を使用するプロキシ サーバー経由でエージェント (クラウド エージェントと通常のエージェント両方) に接続する機能を提供しています。

OpenSSL 1.0.0a へのアップグレード

SilkPerformer には、OpenSSL ツールキット 1.0.0a が同梱されるようになりました。OpenSSL ツールキットの詳細については、<http://www.openssl.org/> を参照してください。

サポートの終了: WAP、ストリーミング、および COM

次のテクノロジーが廃止になり、SilkPerformer の将来のバージョンでサポートされなくなることに注意してください。

- WAP ブラウザおよびゲートウェイ (Opera、Nokia、Phone.Com、OpenWave、WAP Lite など)
- ストリーミング メディア (Microsoft Media Player、RealNetworks プレイヤーなど)
- COM および COM+ のサポート


テストされたソフトウェア

このセクションでは、SilkPerformer がテストされたソフトウェアを一覧します。

システム領域	テスト対象
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Windows XP サービス パック 3• Microsoft Windows XP 64 ビット サービス パック 3• Microsoft Windows Server 2003 サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 64 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Vista サービス パック 2• Microsoft Windows Vista 64 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2008 サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2008 64 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2008 R2• Microsoft Windows 7 32 ビット• Microsoft Windows 7 64 ビット
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Windows Internet Explorer 6.0、7.0、8.0• Opera 8.5.1、9.2• Mozilla Firefox 3.0 以降• Google Chrome
ターミナル エミュレーション サポート	<ul style="list-style-type: none">• AttachMate Extra 8• AttachMateWRQ 13.0• Distinct IntelliTerm 8.1• Ericom Powerterm Pro v8.8.1• HummingBird_Exceed 11.0 (ソケット プロキシを介してフック)• JProtector 4.5.2.0• MochaSoft 5.3 (ソケット プロキシを介してフック)• NetTerm 5.1.1• Nexus Terminal 5.3• PassportPC2Host 3• Quick3270 3.73• Rumba 7.4• Rumba 8• SDI TN3270 Plus v2.4• SecureCRT 1.0• TeraTermPro 2.3

システム領域	テスト対象
	<ul style="list-style-type: none"> • TN5250_sourceforge 0.17.3 • TNBridge
ERP/CRM サポート	<p>SAPGUI クライアント :</p> <ul style="list-style-type: none"> • SAPGUI クライアント 620、パッチ 44、50、66 (推奨)、20 • SAPGUI クライアント 710 <p>PeopleSoft システム : PeopleSoft 8.0、8.3、8.4、8.8</p> <p>Siebel システム :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Siebel 6.3 (MS SQL Server 使用) • Siebel 6.3 (IBM DB2 使用) • Siebel 6.3 (Oracle 使用) • Siebel 7 • Siebel 8 <p>Clarify システム : Clarify eFrontOffice 8、10</p> <p>Remedy Web ARS : Remedy Web ARS 6.3、7.0、7.0.1、7.1、7.5、7.6</p>
Citrix サポート	<p>Citrix クライアント :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Citrix XenApp クライアント 11、11.2、12.0 • Citrix Web インターフェイス 5.1、5.2、5.3 <p>Citrix サーバー :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Citrix Presentation Server 4.0、4.5 • Citrix XenApp 5.0、6.0 <p>オペレーティング システム :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows XP • Microsoft Windows Server 2003 • Microsoft Windows Server 2008
Oracle Forms サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Oracle Forms 6i、9i、10g • Oracle Applications 11i、12i

システム領域	テスト対象
SOAP サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft SOAP Toolkit 2.0 サービスパック 2 (SP2)、Internet Information Server 5 • Apache-SOAP バージョン 2.1、TOMCAT バージョン 3.1
Web サービス サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Axis 1.x • Axis2 1.4、1.5 • GlassFish Metro 1.5
データベース サポート	<ul style="list-style-type: none"> • IBM Universal Database Systems 5.2、6.1、7.1 • Microsoft SQL Server 6.5、7.0 Enterprise Edition • Microsoft SQL Server 2000、2005、2008 • Oracle7 Server Release 7.3.2.2.1 • Oracle8 Enterprise Edition Release 8.0.3.0.0、8.0.5.0.0 • Oracle8ii Release 8.1.5、8.1.6、8.1.67 • Oracle Database 10g Release 2 • Oracle Database 11g Release 2 • Sybase SQL Anywhere Network Server 5.5.04
CORBA サポート	<ul style="list-style-type: none"> • BEA WebLogic Enterprise 5.0.1、6.0、6.1 • VisiBroker Java/C++ 3.x、4.x、5.x、6.x • Inprise Application Server 4.0 • Iona Orbix • IBM WebSphere 3.5、4.x、5.0 • Iona iPortal Application Server 1.1
TUXEDO サポート	<ul style="list-style-type: none"> • BEA TUXEDO Server 6.3、6.4、7.0、7.1、8.0、9.0 • BEA WebLogic Enterprise 4.2
Jolt サポート	BEA Jolt 1.1 (BEA TUXEDO Server 6.4 を含む)、1.2
Java サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Sun Microsystems Java Runtime Environment 1.2.2: classic および hotspot 1.0 • Sun Microsystems Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 • IBM Java Development Kit 1.3 • Eclipse 3.2、3.3、3.4、3.5、3.6
.NET サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft .NET Framework 1.0、1.1、2.0 • Microsoft .NET Framework runtime 2.0 • Microsoft Visual Studio 2005、2008、2010
リッチ インターネット アプリケーション (Web 2.0)	<ul style="list-style-type: none"> • Adobe Flex 2、3、4 • Google Web Toolkit

システム領域	テスト対象
	<ul style="list-style-type: none"> • ExtJS 3 • Eclipse RAP • script.aculo.us
SNMP サポート	<ul style="list-style-type: none"> • SNMPv2-MIB • RFC1213-MIB • RDBMS-MIB • ORADB-MIB • httpServer-MIB • ftpServer-MIB • SUN-MIB • BEA-WEBLOGIC-MIB • APPSRV_MIB (NetDynamics) • SQUID-MIB • WAPServer_MIB (Nokia) <p> 注: Web 上で RFC およびベンダーの MIB を検索するには、The Internet Engineering Task Force を参照してください。</p>
ファイアウォール トンネリングのためのプロキシ サーバ	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Proxy Server 2.0 • Netscape Proxy Server 3.5 (Netscape Proxy Server における不具合のため、HTTP トンネリングはサポートされていません) • WinGate 4.0.1 • Squid 2.3.STABLE4 (LINUX) • Squid 2.4 STABLE3 (LINUX) • Dante 1.1.6 (LINUX)
ソースコード管理インテグレーション (SCCI) サポート	<ul style="list-style-type: none"> • StarTeam (SCC インテグレーション パッチ付) 2005 R2、2006、2008 • Microsoft Visual SourceSafe 6.0c、6.0d、2005 • Merant Version Manager 8.0.2.0

システム要件と事前要件

以下の表は、SilkPerformer をインストールおよび実行するための、システム要件を示したものです。SilkPerformer パフォーマンスとスケーラビリティについては、「パフォーマンスとスケーラビリティ マトリクス」を参照してください。

ハードウェア要件

SilkPerformer エージェント ソフトウェア、もしくは、コントローラとエージェントの両ソフトウェアを実行し、大規模負荷テストを実行するために SilkPerformer のポテンシャルを最大限に利用するには、お持ちのシステムが次の最低要件を満たしている必要があります。

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	512 MB 推奨 (最小) 1 GB 推奨
仮想メモリ	RAM の 3 倍の仮想メモリ
ハードディスク領域	コントローラ ソフトウェア インストールに 580 MB エージェントのみをインストールする場合に 170 MB 行う負荷テストのサイズに応じて、その結果ファイルのための十分な空き容量がお使いのハードディスク上にあるかどうか確認してください。
ネットワーク	TCP/IP を伴う Windows ネットワーク (リモート SilkPerformer エージェント コンピュータを利用する場合)
ネットワーク アダプタ	10 MBit 推奨 (最小) 高速 Ethernet 推奨

表 1 : 負荷テスト

SilkPerformer の機能を、トラフィックの記録、スクリプティング、監視に使用する場合には、お使いのシステムが以下の最小要件を満たしている必要があります。

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	256 MB
ハードディスク領域	440 MB
ネットワーク	TCP/IP

表 2 : 記録、スクリプティング、監視

ソフトウェア要件

SilkPerformer をインストールし、実行するには、お持ちのシステムに、最小限のソフトウェア コンポーネント群が必要となります。

必要とされる個々のコンポーネントは、インストールの種類によって異なります。たとえば、SilkPerformer Java Explorer を実行するには、システムに Sun Microsystems Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 のいずれかがインストールされていなければなりません。コンポーネントはそれぞれ該当するベンダーの Web サイトからダウンロードしてください。

- Microsoft .NET Framework 4.0
- Windows Internet Explorer 6.0、7.0、8.0 (ブラウザ駆動型記録の場合)
- Adobe Acrobat Reader (ドキュメント参照のため)
- Citrix アプリケーションをテストするための Citrix XenApp クライアント 11、11.2、12.0 または Citrix Web インターフェイス 5.1、5.2、5.3
- Java Explorer で Java アプリケーションをテストするための Sun Microsystems Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7

インストール手順

インストール、デプロイメント、ライセンス管理に関する情報については、『[SilkPerformer インストールヘルプ](#)』を参照してください。

SilkPerformer Results Repository

SilkPerformer Results Repository は廃止予定です。負荷テストの結果を保管および分析するのに SilkCentral Test Manager を使用することを推奨します。引き続き Results Repository をご使用になりたい場合には、[\[SilkPerformer Customer Downloads\]](#) ページよりダウンロードすることができます。さらなるご質問については、Micro Focus のテクニカル サポートまでお問い合わせください。

ライセンス情報

SilkPerformer2010 R2 には、新たに 8.2 のライセンスが必要です。バージョン 2010 R2 へのアップグレード処理をするまでの間、以前のバージョンの SilkPerformer を実行したい場合には、古いライセンスを 90 日間ご利用いただくことができます。

SilkPerformer のライセンス モデルは、仮想ユーザー タイプ (VUser タイプ) を基本としています。利用可能な VUser タイプである、Web、標準、プレミアム には、次の SilkPerformer アプリケーションの種類があります：

VUser タイプ	アプリケーションの種類
Web	Web ブラウザ駆動 HTTP(S) (Web ブラウザ低レベル) HTTP(S)/HTML (Web ブラウザ高レベル) HTTP(S)/XML (Web サービス, SOAP) SAP NetWeaver WebDAV (MS Outlook Web Access) 電子メール (SMTP/POP) FTP TCP/IP UDP i モード (HTTP) AMF0/AMF3/FLEX ストリーミング メディア (MS、RealNetworks) DLL インターフェイス
標準	Web すべてとそれに加えて： .Net Add-On Java Add-On

VUser タイプ	アプリケーションの種類
	DB2-CLI Add-On OCI Add-On ODBC Add-On (D)Com Add-On Visual Basic Add-On (Framework) ディレクトリ サーバー (LDAP) CORBA Add-On
プレミアム	標準 すべてとそれに加えて : GUI レベル テスト Remedy Web ARS SAPGUI Add-On for SilkPerformer Oracle Applications/Forms Add-On PeopleSoft Add-On Siebel Add-On Citrix Add-On ターミナル エミュレーション (緑画面) Add-On Tuxedo/ATMI Add-On WAP Add-On

既知の問題

このセクションでは、SilkPerformer における既知の問題について説明します。

SilkPerformer の既知の問題、およびそれらの対応方法は、[Borland Knowledge Base](#) に文書化されています。

解決済みの問題

問題番号	説明	メモ
RPI 575693	ワークロードのエージェントの数をダウンサイズするときに、実行するユーザー/エージェントが多すぎます。	
RPI 575971	ワークロードの設定 ダイアログに、クラウドと非クラウドの実行を切り替えたときの問題が表示されます。	
RPI 576353	クラウドが有効なワークロードがアクティブな場合、不要なメッセージダイアログが TryScript の実行後に表示されます。	
RPI 1074837	破損した http ヘッダー文字列が原因で、ブラウザ駆動型負荷テストが失敗することがあります。	
RPI 575553	システム設定 - ワークベンチ > エージェントプール ページのメモリ列に、間違ったエージェントの値 (8 GB RAM 以上) が表示されます。	
RPI 1074391	SAP V7 ST03 トランザクションの監視が機能しません。	新しい ST03 の監視が、Performance Explorer の定義済みのデータソースで使用できるようになりました。
なし	GUI-level テストの 色の解像度 設定が機能しません。RDP セッションは、常に 8 ビットの色の解像度で接続されます。	
RPI 1075248 および 577371	負荷テストで Citrix スクリプトを再生すると、さまざまな理由により、最初のトランザクションの後にトランザクションが失敗します。	この問題を修正するために、新しい Citrix プロファイル設定 セッションを正常に切断する が利用できるようになりました。
RPI 1076785	エージェント マシンの時間設定が異なる場合 (分単位でのみ異なる) に負荷テストを行うと、負荷テストの時間が正しくない、アクティブなユーザーの数が正しくないなどさまざまな問題が発生します。	
RPI 1076151	FLEX アプリケーションの記録時にコンテンツの送信が失敗します。	
RPI 578106	Remedy プロジェクトの XML への二重引用符 (") の変換中に、Recorder がクラッシュすることがあります。	
RPI 1074544	GUI レベルのテストは Windows オペレーティング システムを搭載した	

問題番号	説明	メモ
	エージェント コンピュータには使用 できません。	
RPI 575582	ToEncoding 関数は、UTF-8 Web サ イトを記録する場合はスクリプト化さ れていません。	